

2019年6月18日

鹿児島大学病院 脳神経外科 で

転移性脳腫瘍あるいは悪性髄膜腫の治療を受けた患者さんへ

(医学系研究に関する情報)

鹿児島大学病院脳神経外科では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の診療記録等をまとめる研究です。このような研究は、文部科学省・厚生労働省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究について詳しくお知りになりたい時や、研究への参加を希望されない場合は下記の「お問い合わせ先」へご連絡ください。

【研究課題名】

転移性脳腫瘍あるいは悪性髄膜腫に対する創薬基盤の創生と活用

【研究機関】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

【研究責任者】

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

教授 吉本幸司

【研究の目的】

転移性脳腫瘍あるいは悪性髄膜腫は予後不良の疾患ですが、効果の高い治療方法は確立していません。転移性脳腫瘍と悪性髄膜腫の患者さんを対象に、手術検体を用いて細胞の性質を調べて維持・保存することでより効果の高い治療について継続的に研究できるようにすることと、これらの材料を用いて抗がん剤の探索を行うことです。この研究を行うことにより、新たな治療の開発が期待できます。

第三者機関からこの研究のための資金提供や労務提供は受けていませんので、利害の衝突は発生しません。

【参加を希望しない患者さんへ】

この研究に参加を希望されない場合は、下記問い合わせ先までご連絡ください。あなたに関するデータを削除します。ただし、学術発表などすでに公開された後のデータなど、患者さんまたはご家族からの撤回の内容に従った措置を講じることが困難となる場合があります。

【問い合わせ先】

〒890-8520

鹿児島市桜ヶ丘 8 丁目 35 番地 1 号

鹿児島大学病院 脳・神経センター 脳神経外科

教授 吉本幸司

電話 099-275-5375 FAX 099-265-4041